



第19号

誌名：平成武師道
発行元：平成武師道活学塾事務局
京都市下京区麩屋町四条下ル八文字町 341
総合打撃道 TEL：075-361-1199

監修：山口 貴史 山下 希哉
編集：兵庫 義幸

～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

二宮金次郎の言葉で「小を積んで大をなす」という言葉がある。

何事でもいきなり大きい事はできない。

小さい事からの積み重ねが、大きい事へ繋がっていくものなのだ。

まさしく人生もそう。

1秒、1時間、1日と積み重ねた結果、振り返るとそこには素晴らしい人生が見える。

金の無駄遣いも良いとは言わない。

しかし、もっと勿体ないのが時間の無駄遣いである。

お金は何とか稼げば戻ってくるが、時間はそうはいかない。

この時、この一瞬は2度と帰って来ないのだ。

例えば、寝るは時寝る。

働く時は一生懸命働き、遊ぶ時は遊ぶ。

その瞬間瞬間、帰ってこない時間を意識して物事に取り組んでいく姿勢。

これが大事ではないだろうか。

人生を強く生きていく為には、己の心を奮い立たせ、生きていくのだ！と気合いを入れる。

人生をやさしい気持ちで生きていくためには、全てに感謝し、生かされているのだ！と心から思う。

己の心を振り返り、今できることから1歩1歩足を踏み出していく継続の力と勇氣。

これらの力や気持ちも、焦らずに少しずつ養っていく事が成功に繋がっていくのではないだろうか。

まさしく「小を積んで大をなす」

人間ひとりでは何もできないが2人、3人と同志達と力を合わせ、時間という素晴らしいものと焦らず共に歩んでいけば、

そこには新しい夜明けを迎える時が必ずやってくる。

その為には、やはり行動だ。

不言実行、有言実行。

成功、失敗どちらも関係ない。

動くしかないのだ。

やるしかないのだ。

もう一度言う。

「小を積んで大をなす」



佐々木